

ご注意を！



平成30年4月から8月にかけて

風しんの発生が多くなっています！

現在、関東地方で風しんの届出数が大幅に増加しており、今後、全国的に感染が拡大する可能性があります。特に30代から50代の男性※の患者が多く確認されています。

これまで風しんにかかっていない方、予防接種を受けていない方は特に注意が必要です！

風しんは予防接種で防ぐことが可能です。

予防接種の接種歴がない方・不明な方は、予防接種を受けることをお勧めします！

※30代から50代の男性は、過去の予防接種制度において、中学生の時に1回の個別接種か1回も接種していない可能性があります。

風しん、先天性風しん症候群とは

風しんとは、風しんウイルスによっておこる急性の発疹性感染症で、「三日はしか」とも呼ばれます。主な症状として発疹、発熱、リンパ節の腫れが認められます。

潜伏期間は2-3週間で、発疹のでる2-3日前から発疹がでた後の5日くらいまで感染力があると考えられています。

先天性風しん症候群とは、抗体のない妊婦が、妊娠初期に風しんにかかるとことで、胎児が風しんウイルスに感染し、出生児が先天的に難聴、心疾患、白内障などの病気をもって生まれてくる病気のことをいいます。

川崎市風しん対策事業

先天性風しん症候群の発生を防止するため、川崎市では風しん抗体検査の無料実施と抗体価の低い方へのワクチン接種費用の一部助成を実施しています。

- 〈対象者〉
- 1 妊娠を希望する女性
 - 2 妊娠を希望する女性のパートナー
 - 3 妊婦のパートナー

(妊娠中は予防接種は受けられません。)

- 〈内容〉
- ・抗体検査 無料 1回
- 抗体検査の結果、十分な抗体がない場合
(同じ年度に実施した本市の抗体検査の結果に限ります。)

- ・麻しん風しん混合ワクチン接種

自己負担額 3,200円 1回

詳しくは川崎市HPで風しんと検索ください。



受けるのは
妊婦する
まえに だよ

川崎市
風しん対策キャラクター

風しんのかな？と思ったら

- 1 明らかな風しんの症状がある場合
- 2 周囲で風しんが流行しているときに風邪などの症状が出た場合

受診前に医療機関に電話等でその旨を伝え、医療機関の指示に従いましょう。

風しんに感染している場合は、病院で他の患者さんに感染させる可能性があります。

川崎市風しん対策
事業ホームページ

